

## 事務事業点検（外部点検）の今後について

### 1 外部点検の目的

市民ニーズの変化、公共サービスの担い手の多様化が進む現在の社会状況の中、市が行っている事務事業の成果及び必要性、有効性について、市民の視点からの点検（外部点検）を行うことで、より効果的な事業の推進を図ることを目的とする。

### 2 これまでの進め方

- (1) 市民を対象としたソフト事業について、委員を2班（5人ずつ）に分けて点検した。
- (2) 平成27年度は14事業を実施。各班7事業をそれぞれ2日かけて行った。
- (3) 1事業あたり1時間

担当所属の説明（10分）→質疑応答（25分）→委員の協議（20分）→総括（5分）

### 3 外部点検の総括を通して見えてきたこと

#### 行財政改革推進委員

--

#### 事務局

- ・事務の効率化、改善に効果があった
- ・担当所属からの説明が委員に十分理解されていないのではないか、と思えるものもあった。
- ・十分な検討を行うには、説明時間や検討時間が短かすぎるのではないか、と思えるものがあった。
- ・事業が細かすぎて、取り組みの全容が分かりにくいのではないか、と思えるものがあった。

### 4 次期行財政改革指針（平成29～33年度）で目指すこと

質の高い行政経営

- 時代の変化に対応できる組織体制の構築（行政組織の質の向上）
- 市民ニーズを捉えた満足度の高い行政サービスの提供（行政サービスの質の向上）
- 効率的で持続可能な行財政運営の推進（行財政運営の質の向上）

### 5 今後のあり方について

上記を踏まえ、今後のあり方（テーマ設定や協議の進め方など）について、委員長と事務局で整理させていただいた上で、次回、おはかりしたい。